

施策番号	25
------	----

施策評価シート（評価対象年度：令和3年度）

基本政策	5	自治・協働
主要施策名	25	広報・広聴
10年後のまちの姿	○日常的に市民の間で様々なまちの情報が共有され、相互の情報交流が行われています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、市民が行政を身近に感じられるよう、市政情報を分かりやすく伝えとともに、市民が市政情報を入手しやすく、市政に対して意見や要望を伝えやすい環境を整備します。 市民等は、市政に対して関心を持ち、積極的に市政情報を入手し、自らの声を行政に伝えるよう努めます。	
実現に向けた取組	①接点の拡大と分かりやすい情報の提供 ②コミュニケーション型（対話型）行政の推進 ③市外に向けた市勢情報の発信	
施策担当課・係	総合政策課 広報情報推進係	
施策関係課・係	総合政策課 行革協働係、商工観光課 商工振興係、議会事務局 議会係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	15,719	12,584	12,874	11,399	16,149
事務事業数	3	3	3	3	3
うち、事務事業評価対象	2	2	2	2	2

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
胎内市公式ウェブサイトのアクセス数〔年間〕	千 セッション	365	420	488	479	607	729	444	494
市政に対する意見・要望（市長への手紙、市報アンケート、ホームページの各課問い合わせ）の受付数	件	411	433	460	454	548	561	480	560
主要な計画の策定や見直しに当たりパブリックコメントを実施した割合	%	37.5	87.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100	100
成果指標による現状分析	<p>○ウェブサイトのアクセスについては、目標値を上回っているが、新型コロナウイルス関係の情報提供やワクチン接種予約によるアクセス数の大幅な向上が見られたものの、一時的なものとする。また、ホームページのデザインをR3.12にリニューアルし、「親しみやすさ」「探しやすさ」を重視したものにした。特にスマートフォン向けのページが見やすくなっている。</p> <p>○意見・要望については、件数が多いからと言って成果が出ている訳ではないと考えられる。目標値はあるが、意見や要望を随時受け付けていることを周知することで良いと考える。</p> <p>○パブリックコメントについては行うべきものは行っており、今後も継続する。</p>								

3 施策の進捗状況

達成度	◎ 順調
評価の理由	数値は中間目標をすべて上回っており、施策の進捗状況は順調である。

4 取組の状況と今後の方向性

① 接点の拡大と分かりやすい情報の提供

施策の内容
①市政情報の提供媒体として活用が求められている市報たいないの更なる充実を図ります。 ②情報を必要とする人が、欲しいときに必要な情報を得られるよう、ホームページの更なる充実等を図ります。 ③市政を身近に感じるための方策の1つとして、市議会のインターネット中継等を実施します。
これまでの主な取組と実績
①高齢者でも読みやすくなるよう紙面の文字を拡大した。(全ページの約半数)。ユニバーサルデザインフォントの使用(R1)。お知らせアイコンを使用し内容を分かりやすく伝えるようにした(R1)。市報モニター(市民公募)を増やした。(6人→H29-10人→H30-12人) 閲覧用市報の設置施設を増やした。(2施設→12施設) 各課の課題・目標を特集記事(4ページ)として掲載した。(R1-8課)(R2-7課) 市報及び議会だよりを「マチイロ」アプリでR1年11月15日号から配信開始。一般市民からの写真の投稿の募集開始(R2.8から)。(R2年度 8件) ②ホームページの巡回確認を行い掲載コンテンツの見直しを実施した。(見直しの実施H29→28件・対応24件。H30→77件・対応55件。R1→79件・対応57件。R2→302件・対応296件) ③市議会のインターネット中継の開始(R2.9月から)。 ④ホームページをリニューアルし「親しみやすさ」「探しやすさ」を重視したものとした。
主な課題と今後の対応
①特集記事の掲載の継続。見やすさの向上のためデザインの見直しをする。市民の声も積極的に掲載する。市報の発行回数の検討。各世代で考え方が違い高齢者は今までどおり、若い世代は減らした方が良いとの回答が多く、デジタル化が進み受け入れられるようになった際に再考する。継続した課題とする。 ②ホームページ掲載コンテンツの見直し・見やすさの向上のため引き続き巡回確認を実施する。

② コミュニケーション型(対話型) 行政の推進

施策の内容
①地域の課題解決に向けて、市民の多様な意見を施策の検討や改善に反映するため、パブリックコメントの実施、公募委員の参画やワークショップの開催等を更に進めるとともに、座談会や要望相談等行政に建設的な意見や要望を提出する機会を増やします。 ②市民の意見や要望を適切に市政に反映するよう努めるとともに、寄せられた意見や要望の対応状況を公開する新たな仕組み等の導入を検討します。 ③市政への理解の促進と胎内市のファンの拡大を目指して、アカウントの整理や活用の拡大をはじめとするSNSの運用の改善を行い、市民と行政の情報交流を促進します。
これまでの主な取組と実績
①計画策定・見直しの際にパブリックコメント等が実施されるよう、対象となる計画の策定等スケジュールの一元化を行った。タウンミーティング(協働座談会)について、H30年度から実施しているが、新型コロナウイルス感染症対策のためR2年度から実施を見送っており、ある程度落ち着いたら再開する。(H30年度→16回、R1年度→5回、R2年度→0回、R3年度→0回) ②市長への手紙について、用紙・封筒の設置施設を増やした。(8施設→9施設) 市報アンケートで寄せられた意見等を職員へ周知し共有した。市報モニターから寄せられた意見等を職員へ周知し共有した。 ③市のSNSを開設している。facebook→13、インスタグラム→7、Twitter→3、YouTube→3。SNSではないがCookpad→1。市全体の情報をfacebookとTwitterで発信しており、その他事業や施設単位で情報発信を行っている。
主な課題と今後の対応
①タウンミーティングは全集落を目標に行っている。今後の開催については新型コロナウイルスの感染が拡大傾向のため感染状況等勘案し開催する。また、地域に限らず職場単位でも行うことも考えている。 ②SNSアカウントの更新頻度が少ないものは更新を促す。頻度の向上が見込めないものは整理するなど運用を改善する。積極的に情報発信するよう呼びかけをする。

③ 市外に向けた市勢情報の発信

施策の内容	
①観光・交流、移住定住、企業誘致等の促進を図るために、胎内市の情報を積極的に発信する。	
これまでの主な取組と実績	
①市外向けに市勢要覧の冊子（印刷物）を作成し、電子データをホームページに掲載した。 ②胎内サポーターズクラブ向けにメールマガジンを発信（月1回）を始めた。（登録者数（総数）：R1→45人、R2→195人、R3→249人） ③郷人会開催 H29→4回 398人、H30→4回 308人、R1→3回 193人（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回中止）、R2→0回 0人（新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべて中止）、R3→0回 0人（新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべて中止） ④各県人会・郷人会の会員と交流する場を設け、市外に向けた情報発信を行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断している。 ⑤市内企業見学ツアーの開催。地元企業合同説明会の開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）。	
主な課題と今後の対応	
①関係人口の創出も企図した「たいないサポーターズクラブ」の周知と市勢情報の発信を定期的実施しサポーターの数を増やす。 ②郷人会は会員数の減少対策が課題となっている。会の存続と活性化のためには様々な機会を活用しての周知や現会員に協力を得ながら新規会員の獲得に努める。	

5 施策の今後の方針

施策方針	◎ 拡充
施策方針に関する説明	○市報について 伝えるべき情報は掲載しているが、効果的に伝わっているかどうかと言えば改善の余地があると考えられる。見やすい紙面を目指し継続して見やすいレイアウトを考えR4年度にリニューアルを行う予定。 ○ホームページについて R3年度にリニューアルを行い、「親しみやすさ」「探しやすさ」を重視したものとした。さらに情報発信の頻度を積極的に取り組むよう各課に促す。 ○市外への情報発信について 市外への情報発信はSNSが一番有効な手段であることからホームページとリンクして発信するようにし、アカウントを持っている課には積極的に情報発信をするよう促す。また「たいないサポーターズクラブ」の会員も年々増加してきており、メールマガジンで市の情報を拡散してもらうようにする。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R3 事業費	R4		達成度	施策目標 に対する 貢献	今後の 方向性	主な事業	担当課	
			うち 一般財源	当初予算額 うち 一般財源						
520110	広報広聴事業	13,584	12,375	11,039	10,037	○	○	③	○	総合政策課
520310	胎内郷人会事業	16	16	2,309	1,029	—	×	⑤		商工観光課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	520310		担当課	商工観光課	担当係	商工振興係	担当者		
事務事業名	胎内郷人会事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	5	自治・協働	事業コード	大	52	広報・広聴	款	07	商工費
主要施策	25	広報・広聴		中	03	市外に向けた市勢情報の発信	項	01	商工費
				小	10	胎内郷人会事業	目	01	商工総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			任意	関連法規	関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内市を故郷とする各県人会と交流を深め、胎内市の発展を考える場を設ける。
主な実施内容	各県人会・郷人会の会員と交流する場を設ける。 ・東京胎内郷会（4月） ・関西胎内郷人会（5月） ・オール胎内郷人会（10月） ・中条郷会（3月）
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	2,889	2,398	2,168	141	16
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	198	266	273	0	0
一般財源	2,691	2,132	1,895	141	16
人件費（千円）	442	445	399	19	19
正(h) ※事業費	240	240	210	10	10
会計年度任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	3,331	2,843	2,567	160	35
財源「その他」内訳	通信運搬費：16千円				
事業費の主な支出内容					
単位コスト	算出方法				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	開催数	開催数	開催数	開催数	開催数
	目標	4回	4回	4回	4回	4回
	実績	4回	4回	3回	0回	0回
成果指標	名称	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数
	目標	500人	500人	300人	300人	300人
	実績	398人	308人	193人	0人	0人
	目標比	79.6%	61.6%	64.3%	0.0%	0.0%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	△	-	-
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 年度内に4回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、いずれも中止となった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

各会において参加者の高齢化が進み参加人数が減少しており、存続のためには事務局と連携した取り組みを進める必要があるが、コロナ禍により具体的な対策の検討が進まない状況にある。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	郷人会の開催にあたっては、各会の幹事と連絡・調整をしながら進めている。

7 事業の課題

高齢化による会員数の減少と新規会員の獲得

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑥	⑥	⑤	⑤	⑤
コロナ禍により2年連続して開催が中止となったことで状況の悪化が想定され、課題解決の糸口を見つけることも難しくなっている。再開が可能となり次第、まずは現会員に参加を促したうえで新規会員の獲得に協力を依頼するとともに、新会員の募集を周知していく。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					